

Kracie

新コッコアポ A錠

便秘と 皮下脂肪が 気になる方に

脂質代謝を活性化

余分な脂肪を分解・燃焼

漢方製剤

480錠(40日分)

のみやすいフィルムコート錠

第2類医薬品

肥満症、肥満にともなう便秘

体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、
便秘がちな方に

第2類
医薬品

押して開ける

480錠

販売名:新コッコアポA錠

[成分]成人1日の服用量12錠(1錠335mg)中、次の成分を含んでいます。

防風通聖散エキス(1/2量).....2,850mg

(トウキ・シャクヤク・センキュウ・サンシシ・レンギョウ・ハッカ・ケイガイ・ポウフウ・マオウ各0.6g、ビャクジュツ・キキョウ・オウゴン・カンゾウ・セッコウ各1.0g、無水ポウシヨウ0.375g、シヨウキョウ0.2g、ダイオウ0.75g、カッセキ1.5gより抽出。

添加物として、ケイ酸Al、CMC-Ca、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタン、三二酸化鉄、カルナバロウを含有する。

[効能]体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの次の諸症:高血圧や肥満に伴う動悸・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿症(副鼻腔炎)、湿疹・皮膚炎、ふきでもの(にきび)、肥満症

[用法・用量]次の量を1日3回食前又は食間に水又は白湯にて服用。成人(15才以上)1回4錠、15才未満は服用しないこと

[保管及び取扱い上の注意](1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)(4)ビンの中の詰物は、輸送中に錠剤が破損するのを防ぐためのものです。開栓後は不要となりますのですててください。(5)使用期限のすぎた商品は服用しないでください。(6)水分が錠剤につきますと、変色または色むらを生じることがありますので、誤って水滴を落としたり、ぬれた手で触れないでください。

発売元

製造販売元

クラシエ 薬品株式会社 クラシエ 製薬株式会社

東京都港区海岸3-20-20(〒108-8080) 東京都港区海岸3-20-20(〒108-8080)

ホームページ www.kracie.co.jp

お客様相談窓口 ☎(03)5446-3334

受付時間 10:00~17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の
問合せ先

☎0120-149-931

製造番号

使用期限

10006

ご使用に際して、
外箱の説明文を
必ずお読みくだ
さい。また、必要
な時に読めるよ
うに大切に保管
してください。

△ 使用上の注意

×してはいけないこと(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください 他の瀉下薬(下剤)
2. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

■相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください(1)医師の治療を受けている人(2)妊婦又は妊娠していると思われる人(3)体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)(4)胃腸が弱く下痢しやすい人(5)発汗傾向の著しい人(6)高齢者(7)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人(8)次の症状のある人 むくみ、排尿困難(9)次の診断を受けた人 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹部膨満、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛
精神神経系	めまい
その他	発汗、動悸、むくみ、頭痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしただけで息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください 下痢、便秘
4. 1ヵ月位(便秘に服用する場合には1週間位)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください